

令和7年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 修徳地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間等】

月～金 午前8時30分から午後5時30分

休業時間・休業日は、日直者・宿直者が対応。

緊急時には担当者に連絡できる体制をとっています。

【事業実施地域】

下京区：永松，開智，豊園，成徳，修徳，尚徳学区（6学区）

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

（1）総合相談支援業務

- ・地域におけるネットワークの構築
- ・単身高齢者世帯の全戸訪問活動の実施と地域での見守りネットワーク構築・支援
- ・地域ケア会議（主にⅠ、Ⅱ地域ケア会議）の継続的な開催と関係者の資質向上支援
- ・地域課題・ニーズに対応した医療をはじめとする多職種ネットワークの充実・強化
- ・支援事例の蓄積等による地域の強み・課題等の抽出及び整理

（2）権利擁護業務

- ・認知症高齢者等及びその家族への支援
- ・認知症の人や家族に対する支援体制の構築
- ・高齢者虐待、困難事例、消費者被害への対応
- ・高齢者虐待等への早期発見・発生予防の取組
- ・高齢者虐待等の早期発見・見守りネットワークの構築

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築
- ・医療機関との連携体制の構築
- ・地域における在宅医療・介護連携拠点の活用と協働
- ・介護支援専門員とのネットワークの構築・支援
- ・サービス事業者と居宅介護支援事業者との連携体制の構築
- ・介護支援専門員への個別支援、資質の向上
- ・地域資源（生活支援サービス等）の把握・分析や情報共有、関係機関との協働によるサービス創出に向けた取組

（4）介護予防に係るケアマネジメント

- ・個別性や個性を重視した適切な介護ケアマネジメントの実施
- ・支援を要する高齢者の把握及び介護予防活動につなげる取組
- ・介護予防の普及啓発

（5）その他

- ・チームアプローチの確立
- ・専門職会議や職員研修を通じた職員の資質向上
- ・地域住民に対する広報

3 サービス提供状況

【職員体制】

主任介護支援専門員1名，保健師1名，社会福祉士1名，介護支援専門員2名

4 市内中小企業への発注に対する考え方

市内中小企業に事業を委託する場合は、以下の考え方に従って業者選定をしています。

委託への考え方

- （1）業務内容が専門的な知識を必要とし、かつ施設内の職員では対応が困難な業務の場合。
 - （2）法人が専門的に行う業務ではないため、専門に行う業者のほうがより効率的に、かつ質の高いものを提供できると判断できる場合。
 - （3）業務内容は簡易であるが、行う人材を集めることが容易でない場合、その業務を行える人材を集めることに特化した業者がある場合。
- また、備品購入等の発注については、市内の業者を優先して活用しています。

5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 介護予防支援給付対象者数(実績値)

1,278 人

(2) 相談延べ件数(実績値)

625 件

(3) 収支実績

ア 令和7年度収入状況(単位:円)

委託料	21,543,200
介護保険収入	6,458,905
その他	17,392,423
収入計	45,394,528

イ 令和7年度支出状況(単位:円)

人件費	27,819,400
事業費	4,133,944
委託費	938,655
小額修繕費	257,675
その他	18,915
支出計	33,168,589

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

2026年1月15日～2026年2月28日にかけて、介護予防支援給付管理利用者を対象に実施。アンケート用紙を自宅訪問時に直接お渡し、郵送していただくよう配布しています。

(2) 利用者満足度把握の結果

- ①担当相談員は相談しやすいか。
「何でも相談できる」51人 「だいたい相談できる」10人 「あまり相談できない」0人
「その他」0人 「無回答」1人
- ②苦情があるとき、相談員に話すか。
「何でも話す」42人 「だいたい話す」12人 「あまり話さない」5人 「その他」0人
「無回答」3人
- ③担当相談員の説明は分かりやすいか。
「よく分かる」46人 「だいたい分かる」13人 「あまり分からない」2% 「その他」0人
「無回答」1人
- ④その他、要望・意見・質問など。
・何でも聞いてくれるので助かります。
・現在の担当者は色々と話をして下さりお話させていただいております。何も申し上げる事はございません。
・担当者と1ヵ月に1回話ができて、ご相談できる事がとてもうれしく思います。
・現在90歳で大体元気に暮らせていてありがたい。相談する人がいてくれるのはありがたい。
・十分満足しています。
・雑談も楽しくできてうれしいです。
・明朗でハキハキとこのままよろしく願いいたします。
・親切、丁寧な対応で良かったです。
・話を聞いている時はよくわかりますが、後から忘れてしまいます。でも一生懸命教えて下さいます。
・いつも感じが良く、何でも話せて頼りになる存在。
・デイサービスに行きたいと思っています。
・訪問していただく日時をこちらの都合で一方的に決め、迷惑をかけていないかと気にしています。
・これからも無理をお願いすると思いますが、助けて下さい。

(3) 意見等への主な対応状況

いただいたご意見に関しては、前向きなものであったと思われます。引き続き対応については部署内で確認しながら行っていきたいと思います。一方で、ハガキの郵送がなかった方については、何かしらの不満やいやな思いをしていないか気になるところではあります。

7 その他特記事項

(1)

令和7年度は、職員配置を4名のところ更に1名増員し、5名体制で運営しております。地域住民はじめ地域の各役員とも今までになかった関わりや密な連携が取りやすくなったと実感しております。

8 評価（指定管理者自己評価）

地域活動については、6学区中5学区の朝のラジオ体操へ参加しています。このラジオ体操は、夏限定のものもあれば、1年中継続して実施しているものもあります。職員の勤務時間を変更してできる限り参加できる体制を整えております。また、担当学区の体育祭や、夏祭り、健康すこやか学級へも参加する機会もかなり増え、地域住民との交流もできております。交流する事で、日常生活での困りごとの相談にのったり、介護保険新規申請につながり、直接担当する方もおられ、サービス開始になったケースもありました。

地域ケア会議では、Ⅰは豊園学区で開催し、Ⅱは6学区すべてできました。Ⅲは半期に1回開催しております。今年度も民生委員や老人福祉員の交代、その中で会長も変更となり、より一層関係性の構築に力を入れました。

運営面では、配置基準より1名多く配置している事から人件費の支出は増えています。また収入面では、昨年度まで担当していた有隣学区が他法人へ移管されたため収入は減少し、回復しておりません。

人件費及び物価、水光熱費の高騰が継続しており、運営はますます厳しくなっています。

地域の高齢者については、朝のラジオ体操から健康すこやか学級に参加する事で顔見知りが増え、他機関（下京区予防推進センターや各学区の体育振興会や社会福祉協議会）とも協力し推進しました。地域包括ケアの実現に向け、高いレベルの事業運営を今後さらに展開していく必要があるため体制の強化も図っています。

知識及び専門性の向上については、法人及び施設内での研修に参加しており、下京区内の包括とも情報交換しながら研鑽しています。障害者差別解消法に基づく不当な差別取扱いの禁止及び合理的配慮の提供については、法人弁護士や包括の社会福祉士が情報の提供や研修の講師となり、既に雇用している障害のある方や、地域にお住まいの方への合理的配慮の実践が出来るよう進めています。

今後も地域の状況に応じた平等かつ適切な事業運営ができるよう取り組んでいきます。